

貸借対照表の状況

(借方)			(貸方)		(単位：億円)	
区分	R02	R01	区分	R02	R01	
1.資産	270.5	275.2	2.負債	269.5	274.1	
(1)固定資産	267.6	273.5	(1)固定負債	140.5	147.0	
土地	3.4	3.4	企業債（翌年度に償還しないもの）	137.3	145.7	
建物	3.3	3.6	他会計借入金	2.8	0.9	
構築物	223.8	228.7	退職給付引当金	0.4	0.4	
機械及び装置	11.9	13.2	その他	0.0	0.0	
工具器具及び備品	0.0	0.0				
建設中の施設	0.2	0.3				
施設利用権	24.5	24.1				
その他	0.5	0.2				
(2)流動資産	2.9	1.7	(2)流動負債	19.1	16.2	
現金・預金	1.3	0.7	企業債（翌年度に償還するもの）	17.0	14.7	
未収金（貸倒引当金含む）	1.6	1.0	未払金（年度末請求の工事費等）	2.0	1.4	
その他	0.0	0.0	その他	0.1	0.1	
(3)繰延資産	0.0	0.0	(3)繰延収益	109.9	110.9	
	0.0	0.0	長期前受金（資産取得の際の補助金等）	109.9	110.9	
			3.資本	1.0	1.1	
			(1)資本金	1.5	1.5	
			(2)剰余金	△ 0.5	△ 0.4	
			資本剰余金	0.0	0.0	
			利益剰余金（過去の黒字・赤字の累計額）	△ 0.5	△ 0.4	
(借方計)	270.5	275.2	(貸方計)	270.5	275.2	

貸借対照表は、借方として資産、貸方として負債、資本を表しており、借方、貸方それぞれの合計額は等しくなります。

令和2年度を前年度と比較すると、借方については、資産の減価償却により固定資産が267億6千万円と5億9千万円の減、流動資産が現金・預金の増等により2億9千万円と1億2千万円の増となりました。

貸方については、企業債の借入額減額により固定負債が140億5千万円と6億5千万円の減、流動負債については、企業債の償還額増額により19億1千万円と2億9千万円の増となりました。また、資本のうち剰余金については、5千万円の赤字決算となり、1千万円の減となりました。

以上のことから、借方・貸方の計はそれぞれ270億5千万円となりました。